

防 災 編

第1章 災害の発生状況

1 令和3年中の災害発生状況

(1) 人的被害

死者8人、重傷者18人、軽傷者86人

(2) 住家被害

全壊2棟、半壊2棟、一部破損192棟、床上浸水18棟、床下浸水61棟

第1表 令和3年中の災害発生状況

発生年月日		災害名		大雪	大雪	大雪	大雪	大雪/雪崩	融雪	融雪	大雨	大雨	大雨	台風9号	大雨	大雪	大雪	計	
区分				1月2日～6日	1月7日～26日	2月2日～3日	2月8日	2月15日～26日	3月2日	3月7日	7月6日～7日	7月15日	7月29日	8月9日	8月14日	12月18日～19日	12月26日～28日		
人的被害	死者	人		1	7													8	
	行方不明者	人																0	
	負傷者	重傷	人		1	16											1		18
		軽傷	人		4	73							1	1		4	3		86
住家被害	全壊	棟			2													2	
	半壊	棟			1								1					2	
	一部破損	棟			146	4	2	40										192	
	床上浸水	棟			2								16					18	
	床下浸水	棟			14								47					61	
非住家	公共建物	棟																0	
	その他	棟			12								1					13	
その他	田	流失・埋没	ha										408					408	
		冠水	ha										47					47	
	畑	流失・埋没	ha															0	
		冠水	ha															0	
	学校	箇所											2					2	
	病院	箇所																0	
	道路	箇所						1	1				71		1			74	
	橋りょう	箇所																0	
河川	箇所								1	1	1	41		5			49		
発生年月日		災害名		大雪	大雪	大雪	大雪	大雪/雪崩	融雪	融雪	大雨	大雨	大雨	台風9号	大雨	大雪	大雪	計	
区分				1月2日～6日	1月7日～26日	2月2日～3日	2月8日	2月15日～26日	3月2日	3月7日	7月6日～7日	7月15日	7月29日	8月9日	8月14日	12月18日～19日	12月26日～28日		
その他	港湾	箇所																0	
	砂防	箇所											25		4			29	
	清掃施設	箇所																0	
	崖くずれ	箇所																0	
	鉄道不通	箇所																0	
	被害船舶	隻																0	
	水道	戸											170					170	
	電話	回線																0	
電気	戸																0		
火災発生	ガス	戸																0	
	建物	件																0	
	危険物	件																0	
その他	件																0		
り	災世帯数	世帯			5								17					22	
り	災者数	人			5								33					38	
公立文教施設	千円																	0	
農林水産業施設	千円												94,219					94,219	
公共土木施設	千円							49,505	386,498	153,048	10,640	20,643	1,055,177		145,906			1,821,417	
その他の公共施設	千円																	0	
公共施設被害市町村数	団体							1	1	1	1	1	3		3			11	
その他被害	千円												4,362					4,362	
被害総額	千円							49,505	386,498	153,048	10,640	20,643	1,153,758		145,906			1,919,998	
都道府県	設置			1月10日														/	
災害対策本部	解散			1月19日															
災害対策本部設置市町				5														5	
災害救助法適用市町				5														5	
消防職員出動延人数	人			18	348								29	3		15	13	426	
消防団員出動延人数	人												100					100	

2 過去5年間の災害発生状況（平成29年～令和3年）

年月日	種類	被害状況	気象状況
2017 (平29) 8.7～8	台風5号	(1)住家被害 全壊 1棟 床下浸水 3棟 (2)非住家被害 その他 1棟 (3)その他被害 道路 3箇所 (4)その他被害 河川 24箇所 (5)その他被害 港湾 2箇所 (6)その他被害 砂防 5箇所 (7)公共土木施設被害 393,080千円 (8)災害対策本部設置市町 小浜市	台風第5号は、四国の南を通り、7日15時半頃に暴風域を伴ったまま和歌山県北部に上陸した。上陸後は近畿地方を北東に進み8日には石川県白山市付近を通過した影響で、福井県では、7日から8日にかけて断続的に強い雨が降った。 8日は激しい雨を観測した所もあり、7日00時から8日24時にかけての総降水量は、奥越、嶺南を中心に200mmを超えた所があった。 (日最大1時間降水量(8日)) 美山 41.0mm 06時45分 小浜 35.0mm 00時55分 (7日～8日の期間降水量) 九頭竜 223.5mm、敦賀 207.5mm
2017 (平29) 8.12	大雨	(1)住家被害 床下浸水 1棟 (2)非住家被害 その他 1棟 (3)その他被害 道路 1箇所 (4)公共土木施設被害 20,496千円 (5)災害対策本部設置市町 高浜町	気圧の谷や湿った空気の影響で、嶺南では激しい雨を観測した所があった。 (日最大1時間降水量(12日)) 大飯 45.5mm 04時14分
2017 (平29) 8.25	大雨	(1)住家被害 床下浸水 5棟 (2)非住家被害 その他 1棟 (3)その他被害 砂防 1箇所 (4)公共土木施設被害 16,588千円 (5)災害対策本部設置市町 永平寺町	低気圧から伸びる前線が北陸地方を南下したため、雷を伴って激しい雨の降った所があった。 (日最大1時間降水量(25日)) 勝山 42.0mm 10時03分 大野 39.0mm 11時00分 福井 34.5mm 09時45分 春江 34.0mm 09時27分
2017 (平29) 9.18	台風18号	(1)住家被害 床下浸水 5棟 (2)非住家被害 その他 1棟 (3)その他被害 港湾 1箇所 (4)その他被害 砂防 1箇所 (5)電気被害 31戸 (4)公共土木施設被害 275,419千円	台風第18号が、兵庫県明石市付近に上陸した後、17日夜遅くから18日未明にかけて福井県を通過した影響で、福井県では激しい雨の降った所があった。 また、台風が最も接近した17日夜遅くから風が強まり、18日未明に強い風を観測した所があった。 (日最大1時間降水量(18日)) 越廼 43.5mm 00時12分 (日最大1時間降水量(17日)) 大飯 38.0mm 23時34分 三国 37.5mm 23時16分 九頭竜 35.0mm 23時25分 (17日～18日の期間降水量) 大飯 114.5mm、小浜 112.5mm (日最大風速(18日)) 敦賀 17.2m/s(北西)00時32分 小浜 16.8m/s(北西)00時49分 (日最大瞬間風速(18日)) 敦賀 26.2m/s(北西)00時24分 小浜 30.6m/s(北北西)00時40分

年月日	種類	被害状況	気象状況
2017 (平29) 10.22～ 23	台風21号	(1)人的被害 重傷 1人 軽傷 4人 (2)住家被害 全壊 1棟 半壊 6棟 一部破損 609棟 床上浸水 5棟 床下浸水 57棟 (3)非住家被害 公共施設 9棟 その他 87棟 (4)その他被害 学校 20箇所 (5)その他被害 病院 1箇所 (6)その他被害 道路 127箇所 (7)その他被害 橋りょう 1箇所 (8)その他被害 河川 89箇所 (9)その他被害 港湾 4箇所 (10)その他被害 砂防 31箇所 (11)その他被害 清掃施設 2箇所 (12)その他被害 崖くずれ 4箇所 (13)その他被害 被害船舶 9隻 (14)電話被害 4回線 (15)電気被害 7,545戸 (16)公共文教施設被害 15,912千円 (17)農林水産業施設被害 479,172千円 (18)公共土木施設被害 4,124,326千円 (19)その他の公共施設被害 129,904千円 (20)その他被害 592,067千円 (21)災害対策本部設置市町 敦賀市、小浜市、鯖江市、越前市、永平寺町、越前町、高浜町、おおい町	台風第21号が、静岡県御前崎市付近に上陸した後、東海地方および関東地方を北東に進んだ影響で、福井県では激しい雨を観測した所があった。 台風が最も接近した22日夜遅くから23日未明にかけて、非常に強い風を観測した所があった。 (日最大1時間降水量(22日)) 大飯 38.0mm 22時33分 越廼 34.5mm 23時21分 (日最大1時間降水量(23日)) 大飯 31.0mm 00時01分 (22日～23日の期間水量) 大飯 304.0mm、小浜 279.0mm 今庄 253.0mm (日最大風速(23日)) 春江 23.1m/s(北)01時47分 今庄 22.5m/s(北)02時43分 小浜 20.3m/s(北)01時04分 (日最大瞬間風速(23日)) 春江 33.4m/s(北)01時44分 今庄 36.8m/s(北)02時37分 小浜 38.8m/s(北)02時07分
2018 (平30) 1.12～14	大雪	(1)人的被害 死者 1人 重傷 4人 軽傷 8人 (2)住家被害 一部損壊 1棟 (3)農産被害 24,314千円	1月中旬から2月中旬にかけて、強い寒気が周期的に入った。 特に、2月3日から8日は強い冬型の気圧配置が続いたため、嶺北を中心に記録的な大雪となった。 嶺北では5日夜遅くから6日昼前にかけて1時間に5cmを超える強い雪が断続的に降り、6日10時までの12時間で50cm前後の降雪量を観測した所があった。
2018 (平30) 1.24～29	大雪	(1)人的被害 重傷 6人 軽傷 1人 (2)その他 学校 1箇所	7日15時には福井市の積雪がこの期間の最深の147cmに達し、昭和56年の豪雪(196cm)以来の大雪となった。
2018 (平30) 2.5～22	大雪	(1)人的被害 死者 12人 重傷 26人 軽傷 94人 (2)住家被害 全壊 1棟 半壊 6棟 一部破損 542棟 床下浸水 7棟 (3)非住家被害 公共建物 6棟 その他 121棟	8日午後から10日は一時的に冬型の気圧配置は緩んだが、11日から13日前半にかけて再び冬型の気圧配置が強まり、嶺北中心に大雪となった。 (最深積雪(2017年12月～2018年2月)) 福井 147cm(2月7日) 武生 130cm(2月13日) 大野 177cm(2月13日)

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
		(4)その他 学校 26箇所 (5)その他 道路 1箇所 (6)その他 橋梁 1箇所 (7)公立文教施設被害 5,627千円 (8)農林水産業施設被害 205,417千円 (9)公共土木施設被害 309,201千円 (10)その他公共施設被害 35,588千円 (11)その他被害 1,027,460千円 (12)災害対策本部設置市町 福井市、大野市、勝山市、 鯖江市、あわら市、越前市、 坂井市、永平寺町	九頭竜 301cm (2月13日) 今庄 162cm (2月13日) 敦賀 57cm (2月8日) 小浜 48cm (2月8日) (大雪警報発表日) 1月11日、1月12日、1月13日、1月24日、 2月4日、2月5日、2月6日、2月7日、 2月8日、2月12日、2月13日
2018 (平30) 3.5	大雪	(1)人的被害 死者 1人 (2)住家被害 一部破損 1棟	
2018 (平30) 3.8	融雪	(1)その他 道路 1棟 (2)公共土木施設被害 19,051千円	
2018 (平30) 3.22～23	融雪	(1)その他 道路 1棟 (2)公共土木施設被害 17,722千円	
2018 (平30) 7.4～12	大雨	(1)住家被害 一部破損 4棟 床上浸水 3棟 床下浸水 18棟 (2)非住家被害 その他 1棟 (3)その他 学校 2箇所 (4)その他 道路 26箇所 (5)その他 河川 37箇所 (6)その他 港湾 15箇所 (7)その他 崖崩れ 2箇所 (8)電気被害 24戸 (9)公立文教施設被害 450千円 (10)農林水産業施設被害 101,733千円 (11)公共土木施設被害 2,638,337千円 (12)その他の公共施設被害 458千円 (13)その他被害 1,157千円 (14)災害対策本部設置市町 敦賀市、大野市、あわら市、 越前市、永平寺町、 南越前町、越前町、高浜町	4日は台風第7号が日本海を北東に進み、その後、8日にかけて梅雨前線が本州付近に停滞した。 日本付近には暖かく湿った空気が供給され続けたため、西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨となった。 福井県では、多い所では4日から8日までの総降水量が400mmを超える大雨となった。 (4日から8日までの総降水量) 九頭竜 424.5mm、三国 417.0mm、越廼 330.0mm 三国、越廼、勝山、武生、今庄、美浜、大飯では7月の日降水量の極値を更新した。 (極値を更新したアメダス) 三国(7日:164mm)、越廼(7日:193mm)、勝山(5日:178mm)、武生(5日:183mm)、今庄(5日:161mm)、美浜(5日:131.5mm)、大飯(7日:151mm) 平成30年6月28日以降の台風第7号や梅雨前線の影響によって、西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨となり、全国各地で甚大な被害が発生したことを踏まえ、気象庁は、この大雨の名称を「平成30年7月豪雨」と定めた。

年月日	種類	被害状況	気象状況
2018 (平30) 8.24	台風 20号	(1)人的被害 軽傷 3人 (2)住家被害 一部破損 24棟 (3)非住家被害 公共建物 1棟 その他 1棟 (4)田 冠水 3.0ha (5)その他 学校 2箇所 (6)その他 道路 17箇所 (7)その他 鉄道不通 1箇所 (8)その他 被害船舶 3隻 (9)電気被害 20戸 (10)公立文教施設被害 1,296千円 (11)農林水産業施設被害 146千円 (12)公共土木施設被害 20,992千円 (13)その他の公共施設被害 715千円 (14)その他被害 1,100千円 (15)災害対策本部設置市町 小浜市、鯖江市	台風第20号は、23日は、四国の南海上を北上し、強い勢力で暴風域を伴ったまま23日21時頃に徳島県南部に上陸した。その後も暴風域を伴ったまま四国から近畿地方を北上し、24日2時に日本海に抜けた後、15時に秋田県沖で温帯低気圧に変わった。 (日最大風速(24日)) 福井 17.4m/s(南東) 00時49分 敦賀 21.3m/s(南南東)03時00分 (日最大瞬間風速(24日)) 福井 29.5m/s(南) 03時16分 敦賀 37.5m/s(南東)00時50分
2018 (平30) 9.4~5	台風 21号	(1)人的被害 重傷 1人 軽傷 6人 (2)住家被害 半壊 4棟 一部破損 115棟 (3)非住家被害 公共建物 1棟 その他 8棟 (4)その他 学校 12箇所 (5)その他 道路 9箇所 (6)その他 河川 6箇所 (7)その他 砂防 1箇所 (8)その他 鉄道不通 1箇所 (9)その他 被害船舶 1隻 (10)電気被害 5,200戸 (11)公立文教施設被害 7,674千円 (12)農林水産業施設被害 10,142千円 (13)公共土木施設被害 76,052千円 (14)その他の公共施設被害 82,999千円 (15)その他被害 2,792千円 (16)災害対策本部設置市町 敦賀市、小浜市、鯖江市、 永平寺町、南越前町	台風第21号は暴風域を伴い非常に強い勢力を維持して4日12時頃に徳島県南部に上陸した。 その後も暴風域を伴ったまま北北東に進み、14時頃に兵庫県神戸市付近に再上陸した。15時には若狭湾に達し、日本海を北上した後、5日9時に間宮海峡で温帯低気圧に変わった。 (日最大風速(4日)) 福井 21.8m/s(南南東)15時59分 敦賀 26.3m/s(南南東)15時29分 (日最大瞬間風速(4日)) 福井 37.9m/s(南) 16時22分 敦賀 47.9m/s(東南東)15時00分

年月日	種類	被害状況	気象状況
2018 (平30) 9.30 ~ 10.1	台風 24号	(1)住家被害 一部破損 3棟 (2)その他 砂防 1箇所 (3)その他 鉄道不通 1箇所 (4)電話被害 6回線 (5)公共土木施設被害 7,430千円 (6)災害対策本部設置市町 敦賀市、小浜市、鯖江市、 永平寺町、南越前町、高浜町	台風第24号は、四国の南海上を北東に進み、非常に強い勢力を維持して30日20時頃に和歌山県田辺市付近に上陸した。 その後も暴風域を伴ったまま更に速度を速めて東海、関東甲信、東北地方を北東に進み、10月1日12時に日本の東海上で温帯低気圧に変わった。 (日最大風速) 福井 12.0m/s(北北西) 1日00時27分 敦賀 21.8m/s(北北西)30日23時49分 (日最大瞬間風速) 福井 23.7m/s(北) 1日00時08分 敦賀 30.8m/s(北北西)30日23時42分
2017 (平29) 12.25~ 2019 (平31) 1.4	地滑り	(1)公共土木施設被害 1,157,665千円	福井市蔵作町の主要地方道武生美山線において、12月25日に一次崩壊が発生し、12月29日から1月3日にかけて斜面が高さ85m、巾60m、深さ10mにわたる地すべりによって、約1万㎡の土砂が道路を寸断した。 12月25日~29日まで片側交互通行を行っていたが、12月29日から平30年1月4日までは全面通行止め。迂回路の設置完了に伴い、1月4日から片側交互通行とし、付替道路の設置完了に伴い、令和3年7月7日から対面通行を開始した。
2019 (令元) 8.16	台風 10号	(1)農林水産業施設被害 9,488千円	台風第10号は、日本の南海上を北西に進み、次第に進路を北に変え、15日11時過ぎに愛媛県佐田岬半島付近を通過した後、15日15時頃に広島県呉市付近に上陸し、中国地方を縦断後に日本海を北上した。 (日最大1時間降水量) 九頭竜 29.5mm 16日02時48分 (日降水量) 九頭竜 92.0mm 16日 (期間水量(15日~16日)) 九頭竜 138.0mm (日最大風速(15日)) 福井 14.8m/s(南南東)21時33分 敦賀 19.2m/s(南南東)19時07分 (日最大瞬間風速(15日)) 福井 23.9m/s(南東) 19時17分 敦賀 33.5m/s(南南東)19時03分

年月日	種類	被害状況	気象状況
2019 (令元) 10.12～ 10.13	台風 19号	(1)人的被害 重傷 1人 (2)公共土木施設被害 37千円 (3)その他の公共施設被害 1,099千円 (4)その他被害 25,726千円	台風第19号は、マリアナ諸島を西に進み、一時 大型で猛烈な台風が発達した後、次第に進路を北に変え、日本の南を北上し、12日19時前に大型で強い勢力で伊豆半島に上陸した。その後、関東地方を通過し、13日12時に日本の東で温帯低気圧に変わった。 (日最大1時間降水量) 小浜 13.5mm 12日13時25分 今庄 12.0mm 12日15時03分 (日降水量) 小浜 113.0mm 12日 今庄 100.0mm 12日 (期間水量(12日～13日)) 小浜 127.0mm 今庄 111.0mm (日最大風速(12日)) 福井 12.5m/s(北北西)20時41分 春江 18.7m/s(北) 21時01分 敦賀 20.0m/s(北西) 20時06分 (日最大瞬間風速(12日)) 福井 22.3m/s(北北西)23時48分 春江 27.8m/s(北北西)20時36分 敦賀 29.9m/s(北北西)19時22分
2020 (令2) 6.10～ 6.16	大雨	(1)農林水産業施設被害 5,023千円 (2)公共土木施設被害 115,294千円	梅雨前線が日本付近に停滞した影響により14日を中心に激しい雨が降り大雨となった所があった。 (日最大1時間降水量) 越廼 39.5mm 14日17時54分 春江 38.0mm 14日18時05分 福井 36.0mm 14日18時17分 敦賀 32.0mm 14日19時37分 小浜 31.5mm 13日07時49分 (日降水量) 春江 125.5mm 14日 越廼 111.0mm 14日 三国 108.5mm 14日 勝山 105.0mm 14日 福井 103.5mm 14日
2020 (令2) 6.27～ 6.28	大雨	(1)公共土木施設被害 43,407千円	梅雨前線の影響により28日は非常に激しい雨が降り、大雨となった所があった。 (日最大1時間降水量) 越廼 50.0mm 28日 02時13分 福井 36.5mm 28日 02時40分 美山 36.0mm 28日 03時23分 (日降水量) 越廼 97.0mm 28日 福井 78.5mm 28日 美山 57.5mm 28日

年月日	種類	被害状況	気象状況
2020 (令2) 7.8	大雨	(1)住家被害 床下浸水 3棟	活発な梅雨前線の影響により大雨となった所があった。 (日最大1時間降水量) 九頭竜 29.5mm 8日 03時42分 敦賀 26.5mm 8日 05時07分 今庄 19.5mm 8日 05時30分 (日降水量) 九頭竜 80.0mm 8日 敦賀 53.0mm 8日 今庄 53.0mm 8日
2020 (令2) 7.10～ 7.14	大雨	(1)公共土木施設被害 71,287千円	梅雨前線が日本付近に停滞した影響により大雨となった所があった。 (日最大1時間降水量) 三国 21.5mm 11日 05時16分 春江 19.5mm 11日 06時39分 美山 19.0mm 11日 05時47分 (日降水量) 九頭竜 68.5mm 13日 勝山 51.0mm 13日 春江 42.5mm 11日 今庄 42.5mm 13日
2020 (令2) 9.4	地震	(1)人的被害 軽傷 13人	福井県嶺北を震源とする地震 9月4日 09時10分 M5.0 深さ7km 北緯 36度06.9分 東経 136度11.3分 震度5弱 坂井市 震度4 福井市、あわら市 震度3 鯖江市、永平寺町、越前町、越前市
2020 (令2) 12.19～ 12.20	大雪	(1)人的被害 軽傷 2人	12月14日～20日にかけて、強い冬型の気圧配置となり、上空には強い寒気が流れ込んだ影響により奥越では大雪となった。 (日降雪量最大値) 大野 24cm 12月16日 九頭竜 40cm 12月16日 (最深積雪) 大野 45cm 12月20日 九頭竜 77cm 12月18日

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
2020 (令2) 12.31~ 2021 (令3) 1.1	大雪	(1)人的被害 軽傷 1人	12月31日から1月1日にかけて、強い冬型の気圧配置となり、上空には強い寒気が流れ込んだ影響により大雪となった。 (日最大降雪量) 福井 10cm 12月31日 武生 10cm 1月1日 大野 21cm 1月1日 九頭竜 36cm 1月1日 今庄 27cm 12月31日 敦賀 18cm 12月31日 小浜 12cm 12月31日 (最深積雪) 福井 17cm 12月31日 武生 18cm 1月1日 大野 63cm 1月1日 九頭竜 98cm 1月1日 今庄 35cm 1月1日 敦賀 22cm 1月1日 小浜 11cm 12月31日
2021 (令3) 1.2~ 3.7	大雪	(1)人的被害 死者 8人 重傷 17人 軽傷 77人 (2)住家被害 全壊 2棟 半壊 1棟 一部破損 192棟 床上浸水 2棟 床下浸水 14棟 (3)非住家被害 その他 12棟 (4)その他 道路 2箇所 (5)その他 河川 1箇所 (6)公共土木施設被害 589,051千円 (7)災害対策本部設置市町 福井市、大野市、勝山市、坂井市、永平寺町	1月8日から1月9日にかけて、強い冬型の気圧配置となり、嶺北を中心に大雪となった。 (日最大降雪量) 福井 54cm 1月9日 武生 32cm 1月8日 大野 63cm 1月8日 九頭竜 52cm 2月17日 今庄 39cm 1月10日 敦賀 23cm 2月18日 小浜 4cm 1月29日、2月9日 (最深積雪) 福井 107cm 1月9日 武生 64cm 1月10日 大野 166cm 1月11日 九頭竜 187cm 1月10日 今庄 91cm 1月10日 敦賀 26cm 2月18日 小浜 4cm 1月2日、1月30日 2月9日
2021 (令3) 7.6~ 7.7	大雨	(1)その他 河川 1箇所 (2)公共土木施設被害 10,640千円	活発な梅雨前線の影響により大雨となった所があった。 (日最大1時間降水量) 越廼 36.0mm 7日05時52分 九頭竜 27.5mm 7日06時19分 大野 22.0mm 7日06時24分 (日降水量) 越廼 72.5mm 7日 九頭竜 56.0mm 7日 美山 45.5mm 7日 大飯 45.5mm 7日

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
2021 (令3) 7.15	大雨	(1)その他 河川 1箇所 (2)公共土木施設被害 20,643千円	上空に流れ込んだ寒気の影響により、大気が不安定となった。 (日最大1時間降水量) 武生 18.0mm 15日16時11分 美浜 9.0mm 15日19時27分 大飯 6.5mm 15日15時14分 (日降水量) 武生 18.0mm 15日 美浜 9.0mm 15日 大飯 9.0mm 15日
2021 (令3) 7.29	大雨	(1)人的被害 軽傷 1人 (2)住家被害 半壊 1棟 床上浸水 16棟 床下浸水 47棟 (3)非住家被害 その他 1棟 (4)その他 田 流失・埋没 480ha 田 冠水 47ha (5)その他 学校 2箇所 (6)その他 道路 71箇所 (7)その他 河川 41箇所 (8)その他 砂防 25箇所 (9)その他 水道 170戸 (10)農林水産業施設被害 94,219千円 (11)公共土木施設被害 1,055,177千円 (12)その他被害 4,362千円	29日は、台風第8号から変わった日本海の低気圧に向かって、暖かく湿った空気が流入し、また、東日本上空約6000メートルの氷点下6度以下の寒気が北陸地方に流れ込んだ。このため、大気の状態が非常に不安定となり、福井県では嶺北を中心に大雨となった。 (日最大1時間降水量) 福井 44.0mm 29日06時17分 越廼 34.0mm 29日08時12分 美山 25.5mm 29日01時51分 (日降水量) 福井 107.0mm 29日 越廼 91.5mm 29日 春江 60.0mm 29日
2021 (令3) 8.9	台風 9号	(1)人的被害 軽傷 1人	台風第9号は、8日午後8時過ぎに鹿児島県枕崎市付近に上陸し、9日5時過ぎに広島県呉市付近に再上陸した後、9日9時に中国地方で温帯低気圧に変わった。 (日最大1時間降水量) 美山 18.0mm 9日21時04分 小浜 15.5mm 9日5時18分 (日降水量) 武生 54.0mm 9日 美山 46.5mm 9日 (日最大風速(9日)) 三国 16.3m/s(南) 15時11分 福井 14.8m/s(南南西)18時20分 春江 14.4m/s(南) 17時20分 (日最大瞬間風速(9日)) 三国 30.2m/s(南) 18時16分 福井 27.2m/s(南南西)17時44分 春江 23.7m/s(南南西)18時23分 越廼 23.7m/s(南) 17時39分

年月日	種類	被害状況	気象状況
2021 (令3) 8.14	大雨	(1)その他 道路 1箇所 (2)その他 河川 5箇所 (3)その他 砂防 4箇所 (4)公共土木施設被害 145,906千円	本州付近に停滞した活発な前線の影響により、大雨となった。 (日最大1時間降水量) 福井 31.0mm 14日 06時 47分 武生 28.0mm 14日 06時 53分 大飯 23.5mm 14日 06時 48分 (日降水量) 大飯 93.0mm 14日 武生 91.5mm 14日 小浜 86.5mm 14日
2021 (令3) 12.18~ 12.28	大雪	(1)人的被害 重傷 1人 軽傷 7人	上空に強い寒気が流れ込み、26日から27日にかけて断続的に雪が降った。 (日最大降雪量) 福井 14cm 12月 25日 武生 19cm 12月 26日、12月 27日 大野 28cm 12月 19日 九頭竜 36cm 12月 27日 今庄 28cm 12月 18日 敦賀 16cm 12月 27日 小浜 34cm 12月 26日 (最深積雪) 福井 33cm 12月 27日 武生 35cm 12月 27日 大野 46cm 12月 28日 九頭竜 57cm 12月 27日、12月 28日 今庄 41cm 12月 27日 敦賀 26cm 12月 27日 小浜 47cm 12月 27日

第2章 令和3年の天候概況

1 天候の特徴

◇ 年（1月～12月）の概況

1月前半は強い寒気が流れ込んだ影響で、曇りや雪または雨の日が多く大雪となったところもあった。2月は寒気の南下は一時的で、低気圧や高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わった。この冬は前半を中心に降水量が多かったため、全体の降水量はかなり多くなった。また、冬の後半は高気圧に覆われて晴れた日が多く、低気圧に向かって暖かい空気が流れ込んだため、今冬の気温は平年並となり、日照時間は多くなった。

3月～4月は、移動性の高気圧に覆われて晴れた日が多くなった。4月は日照時間がかなり多くなったが、5月は低気圧や、本州付近に停滞した活発な前線の影響で、曇りや雨の日が多くなり、日照時間がかなり少なくなった。また、今春の前半は北からの寒気の流入が顕著に弱く、南からの暖かい空気に覆われやすかったため、3月では気温がかなり高くなった。

6月～7月は、梅雨前線の影響が小さく高温・多照。8月は低気圧や前線の影響で多雨・寡照。太平洋高気圧の張り出しが例年より弱かったため、6月は梅雨前線が日本の南海上に停滞しやすかった。7月中旬に梅雨前線は不明瞭となったため、高気圧に覆われやすく、6月～7月は晴れの日が多くなった。8月は日本の南海上では熱帯低気圧が発生しやすく、上旬の終わりから、台風から変わった低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多くなった。

9月～11月は、低気圧や前線の通過により、寒気の影響を受けやすい時期があったが、暖かな空気の流れ込みや高気圧の影響により晴れた日が多くなったため、日照時間はかなり多く、気温は高くなった。降水量は、11月は多くなったが季節としては平年並となった。

12月は、下旬に強い寒気が流れ込んだ影響で、大雪となったところもあった。

年平均気温の平年差は福井で+0.6℃で平年より高く、敦賀で+0.6℃で平年より高くなった。

年降水量の平年比は福井では124%で平年よりかなり多く、敦賀では112%で平年より多くなった。

年日照時間の平年比は福井では111%で平年よりかなり多く、敦賀では111%で平年よりかなり多くなった。

官署	平均気温			降水量			日照時間		
	本年 (℃)	平年差 (℃)	階級区分	本年 (mm)	平年比 (%)	階級区分	本年 (h)	平年比 (%)	階級区分
福井	15.4	0.6	高い	2858.0	124	かなり 多い	1829.0	111	かなり 多い
敦賀	16.2	0.6	高い	2454.5	112	多い	1777.4	111	かなり 多い

※平年差（比）は、平年値（1991年～2020年の30年平均値）から求めている。

◇ 台風

台風の年間発生数は平年より少ない22個(平年値25.1個)となり、日本への接近数は12個(平年値11.4個)、上陸数は3個(平年値2.7個)。北陸地方への接近数は3個(平年値2.8個)となった。【台風発生数・上陸数】

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	平年値
発生		1		1	1	2	3	4	4	4	1	1	22	25.1
上陸 (注1)							1	1	1				3	3.0
北陸地方に 接近した台風							1	1	1				3	2.8

(注1) 「上陸」は台風が中心が北海道、本州、四国、九州の海岸線に達した場合を指す。

※台風の中心が新潟県、富山県、石川県、福井県のいずれかの気象官署等から300km以内に入った場合を「北陸地方に接近した台風」としている。

・接近は2か月にまたがる場合があり、各月の接近数の合計と年間の接近数とは必ずしも一致しない。

2 月別気象概況

◇ 2021年(令和3年)月別気象概況

1月

上・中旬は冬型の気圧配置や寒気の影響で気温が低くなり、雪や雨の日が多くなった。特に8日から9日にかけては冬型の気圧配置が強まったため、嶺北では大雪となった。

平均気温は、小浜で平年より高く、福井、大野、今庄、春江で平年より低く、その他の地点では平年並となった。

降水量は、大飯、小浜で平年よりかなり少なく、勝山で平年よりかなり多く、美浜で平年より少なく、敦賀で平年並となり、その他の地点では平年より多くなった。

日照時間は、美浜、小浜で平年よりかなり多く、三国、敦賀で平年より多く、大野で平年より少なく、その他の地点では平年並となった。

2月

上、中旬は、冬型の気圧配置や低気圧の影響で、曇りや雨の日が多くなったが、下旬は高気圧に覆われて晴れた日が多くなった。

平均気温は、勝山、大野、今庄、春江で平年より高く、その他の地点では平年よりかなり高くなった。

降水量は、小浜で平年より少なく、勝山、美山、敦賀、大野、九頭竜で平年より多く、その他の地点では平年並となった。

日照時間は、勝山、三国、越廼、今庄で平年より多く、その他の地点では平年よりかなり多くなった。

3月

高気圧と低気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わった。中旬は低気圧や前線の影響で大

雨となった日もあった。また、下旬には黄砂を観測した日もあった。

平均気温は、全ての地点で平年よりかなり高くなった。

降水量は、勝山、大野、春江で平年より少なく、敦賀で平年より多く、その他の地点では平年並となった。

日照時間は、三国、越廼、美浜、小浜で平年より多く、その他の地点では平年よりかなり多くなった。

4月

高気圧に覆われて晴れた日が多くなったが、中旬と下旬には低気圧や前線の影響で大雨となった日があった。

平均気温は、三国、勝山、美浜で平年より高く、その他の地点では平年並となった。

降水量は、福井、越廼、勝山、美山、春江、武生で平年並、小浜で平年よりかなり多く、その他の地点では平年より多くなった。

日照時間は、すべての地点で平年よりかなり多くなった。

5月

低気圧や前線の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多くなった。特に中旬の後半から下旬のはじめにかけては、低気圧や前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んで大雨となった日があった。

平均気温は、すべての地点で平年並となった。

降水量は、福井、美山、勝山、武生、大野、九頭竜で平年よりかなり多く、その他の地点では平年より多くなった。

日照時間は、勝山、大野、今庄、小浜で平年よりかなり少なく、その他の地点では平年より少なくなった。

6月

上旬は高気圧に覆われて晴れた日が続いたが、中旬から下旬にかけては上空の寒気や南からの暖かく湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなり、所々で雷を伴った大雨となった日もあった。

なお、北陸地方は13日ごろ梅雨入り（平年より2日遅く昨年より2日遅い）した。

平均気温は、三国で平年よりかなり高く、その他の地点では平年より高くなった。

降水量は、三国、春江、越廼、敦賀、美浜で平年より少なく、その他の地点では平年並となった。

日照時間は、小浜で平年並、勝山で平年よりかなり多く、その他の地点では平年より多くなった。

7月

前半は、日本付近に停滞した梅雨前線の影響により、雨や曇りの日が多くなり、大雨となったところもあった。後半は、高気圧に覆われて晴れた日が多くなったが、下旬は上空の寒気の影響により、雨となった日もあり、特に29日は嶺北北部を中心に大雨となった。

なお、北陸地方は14日ごろに梅雨明けとなった。

平均気温は、三国で平年よりかなり高く、春江、越廼、勝山、大野で平年並、その他の地点では平年より高くなった。

降水量は、福井、越廼、美山、勝山、大野、九頭竜で平年より多く、その他の地点では平年並となった。

日照時間は、今庄、敦賀、美浜、小浜で平年並、その他の地点では平年より多くなった。

8月

高気圧に覆われて晴れた日もあったが、前線や低気圧等の影響により、全般に雨や曇りの日が多くなった。特に上旬の終わりから中旬にかけては、台風第9号から変わった低気圧や日本付近に停滞した前線の影響により嶺北を中心に大雨となった日もあった。

平均気温は、三国、勝山、美浜、小浜で平年並、その他の地点では平年より低くなった。

降水量は、春江、福井、美山、勝山、大野、武生、今庄で平年よりかなり多く、その他の地点では平年より多くなった。

日照時間は、越廼、勝山、今庄、小浜で平年よりかなり少なく、その他の地点では平年より少なくなった。

9月

高気圧に覆われ晴れた日もあったが、低気圧や前線の影響により、雨や曇りの日が多くなり、1日から2日にかけては大雨となったところがあった。

平均気温は、変動が大きくなったが、すべての地点で平年並となった。

降水量は、三国、福井、越廼、美山、勝山、大野、九頭竜で平年並、その他の地点では平年より少なくなった。

日照時間は、今庄、敦賀、美浜、小浜で平年より少なく、その他の地点では平年並となった。

10月

低気圧や前線および気圧の谷の影響で曇りや雨となった日もあったが、全般には高気圧に覆われ晴れた日が多くなった。

平均気温は、敦賀、美浜で平年よりかなり高く、その他の地点では平年より高くなったが、月の後半は寒気の影響で気温の変動が大きくなった。

降水量は、大飯で平年並、美浜、小浜で平年より少なく、その他の地点では平年よりかなり少なくなった。

日照時間は、すべての地点で平年よりかなり多くなった。

11月

高気圧に覆われ晴れた日が多くなったが、低気圧や前線および寒気の影響で曇りや雨となった日もあり、嶺北を中心に大雨となった日があった。また、下旬は嶺北山地を中心に積雪となったところがあった。

平均気温は、三国で平年より高く、その他の地点では平年並となった。

降水量は、大飯で平年よりかなり少なく、越廼、武生で平年よりかなり多く、三国、春江、福井、今庄、敦賀で平年より多く、その他の地点では平年並となった。

日照時間は、すべての地点で平年よりかなり多くなった。

12月

高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や冬型の気圧配置の影響で雨や曇りの日が多く、後半は強い寒気の影響により雪やみぞれで雷を伴った日があった。また、26日から27日にかけては大雪となった。

平均気温は、すべての地点で平年並となった。

降水量は、春江、越廼、今庄で平年並、大野、小浜、大飯で平年よりかなり多く、その他の地点では平年より多くなった。

日照時間は、すべての地点で平年並となった。

第3章 防災訓練の実施状況

I 総合防災訓練

令和3年度福井県総合防災訓練を次のとおり実施した。

1 目的

災害対策基本法および福井県地域防災計画に基づき、防災関係機関が協力して迅速・的確に応急対策が実施できるよう、訓練会場の特色を活かした実践的な防災訓練を行い、併せて住民の防災に対する意識の高揚を図ることを目的に実施した。

2 日時、場所

令和3年11月13日（土）7時30分～12時00分

- 主訓練会場 日野川河川敷（鯖江市熊田町）
- サテライト会場 立待公民館（鯖江市杉本町）
吉川小学校（鯖江市大倉町）
豊公民館（鯖江市下野田町） など

3 主催

福井県、鯖江市

4 想定

県内で新型コロナウイルス感染症が発生する中、鯖江市で土砂災害警戒情報の発表後、嶺北南部にて震度6弱の地震が発生

5 参加機関 100機関（約1050人）

（1）国の行政機関

東京管区气象台福井地方气象台、総務省北陸総合通信局、近畿地方整備局福井河川国道事務所

（2）自衛隊

自衛隊福井地方協力本部、陸上自衛隊第14普通科連隊、陸上自衛隊第372施設中隊

（3）警察関係

福井県警察本部、鯖江警察署

(4) 消防関係

福井県消防長会、福井市消防局、嶺北消防組合消防本部、永平寺町消防本部、大野市消防本部、勝山市消防本部、鯖江・丹生消防組合消防本部、南越消防組合消防本部、敦賀・美方消防組合消防本部、若狭消防組合消防本部、(公財)福井県消防協会、鯖江市女性防犯隊、鯖江市消防団機能別分隊

(5) 医療関係

(一社)福井県医師会、(公社)福井県看護協会、日本赤十字社福井県支部、福井県赤十字血液センター、赤十字飛行隊福井支隊、鯖江市赤十字奉仕団、福井県立病院、福井県済生会病院、福井大学医学部付属病院、勝山総合病院、公立丹南病院、市立敦賀病院、杉田玄白記念公立小浜病院、福井県歯科医師会

(6) 交通運輸関係

福井県倉庫協会、(一社)福井県トラック協会、中日本高速道路(株)金沢支社、(株)二ホンパッケージ、福井県タクシー協会

(7) ライフライン関係

北陸電力(株)福井支店、北陸電力送配電(株)福井支社、(一財)北陸電気保安協会福井支店、(一社)福井県LPガス協会、福井県高圧ガス地域防災協議会、(一社)日本コミュニティーガス協会近畿支部福井県防災会、福井県管工業協同組合

(8) 各種団体

福井県防災士会、防災士ネットワークさばえ、立待防災協議会、吉川地区防災協議会、豊地区安全防災委員会、社会福祉法人鯖江市社会福祉協議会、鯖江王山ライオンズクラブ、日産プリンス福井販売(株)、福井日産自動車(株)、(株)福井銀行、西日本電信電話(株)、KDDI(株)、ソフトバンク(株)、(株)NTTドコモ北陸支社、北陸コカ・コーラボトリング(株)、KOSEI(株)、尾西食品(株)、柴田商事(株)、トレーラースタイル福井店、(株)ダイキョウコーポレーション、(株)G&ECO、(株)スカイオーイング、(株)三和電工社

(9) 地元地区関係

鯖江市

6 主な訓練項目

(1) 実働機関による実践的な訓練

- ・ヘリ、ドローンによる被害状況確認
- ・土砂災害救出救助
- ・ドクターヘリによる傷病者搬送

(2) 避難所運営訓練

- ・LINE等のSNSを活用した避難所受付
- ・要支援者、外国人避難者対応訓練
- ・DWA Tと鯖江市による福祉トリアージ訓練

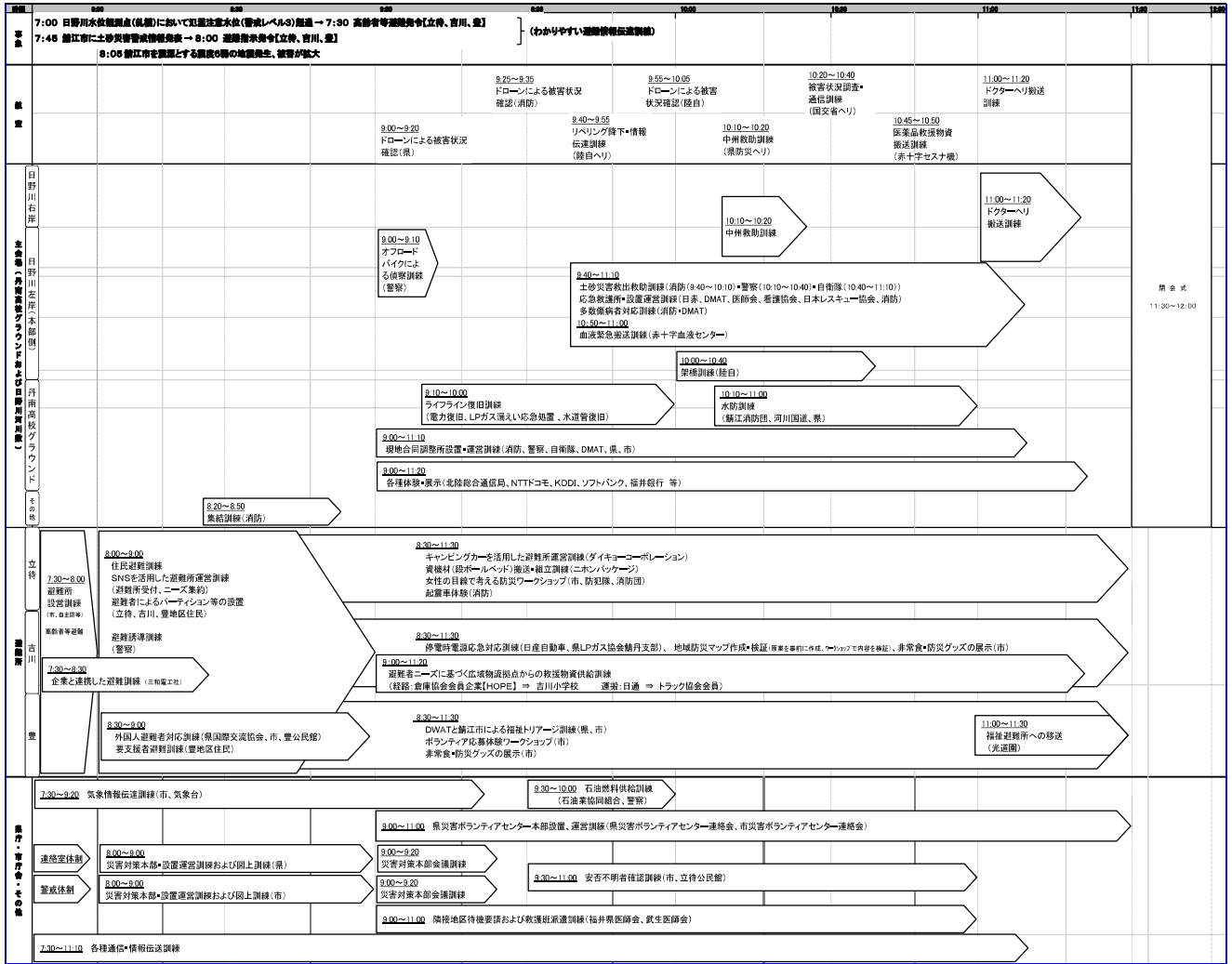
(3) 住民避難訓練・支援訓練

- ・鯖江市民 約250名が住民避難訓練に参加
- ・避難者によるパーティション等の設置
- ・福祉避難所への移動

(4) ライフライン復旧訓練

- ・停電時の電力復旧対応
- ・地震による断水の復旧対応
- ・LPガス漏洩応急処置

<訓練項目図>



令和3年度 福井県原子力総合防災訓練 実施結果 (美浜地域における3県・内閣府合同原子力防災訓練)

1 目 的

福井県地域防災計画（原子力災害対策編）および美浜地域の緊急時対応に基づき、国、関係県、関係市町、防災関係機関および地域住民が一体となった原子力総合防災訓練を実施し、国、地方公共団体、原子力事業者、関係機関における初動対応の確立、防災体制の確認、住民避難体制や緊急時医療措置等の災害対策の習熟、原子力災害対策に係る要員の技能の習熟および原子力防災に関する住民理解の促進を図ることを目的とする。

2 実施時期

令和3年10月29日（金） 8：30～15：30
10月30日（土） 8：00～15：00

3 対象発電所 関西電力株式会社 美浜発電所

4 場所

美浜町、敦賀市、若狭町、小浜市、南越前町、越前市、越前町等の訓練実施市町

5 訓練参加数

（機 関）

約100機関 約1,800人

（住 民）

避難訓練参加住民 約 320人

屋内退避参加住民 約4,700人

6 参加・協力機関（順不同）

（1）指定行政機関

内閣府、原子力規制委員会 等

（2）指定地方行政機関

気象庁福井地方气象台、近畿地方整備局福井河川国道事務所、海上保安庁第八管区海上保安本部、舞鶴海上保安部、敦賀海上保安部、小浜海上保安署、陸上自衛隊中部方面総監部、陸上自衛隊第10師団司令部、陸上自衛隊第14普通科連隊、陸上自衛隊第10飛行隊、陸上自衛隊第372施設中隊、海上自衛隊舞鶴地方総監部、海上自衛隊舞鶴警備隊、航空自衛隊第6航空団、自衛隊福井地方協力本部 等

（3）指定公共機関

日本原子力研究開発機構 等

(4) 自治体関係

福井県、滋賀県、岐阜県、兵庫県、奈良県、関西広域連合、福井県美浜町、敦賀市、若狭町、小浜市、南越前町、越前市、越前町、あわら市、おおい町、高浜町、兵庫県朝来市、兵庫県多可町、奈良県生駒市 等

(5) 警察関係

福井県警察本部、敦賀警察署、小浜警察署 等

(6) 消防関係

敦賀美方消防組合消防本部、若狭消防組合消防本部、福井市消防局、敦賀美方消防組合美浜消防団、敦賀美方消防組合敦賀消防団、敦賀美方消防組合三方消防団、若狭消防組合小浜消防団、若狭消防組合上中消防団等

(7) 学校関係

福井県教育委員会、美浜町教育委員会、敦賀市教育委員会、小浜市教育委員会、若狭町教育委員会、南越前町教育委員会、越前市教育委員会、越前町教育委員会 等

(8) 医療機関関係

(一社)福井県医師会、(一社)福井県薬剤師会、(公社)福井県診療放射線技師会、福井赤十字病院、福井県立病院、福井大学医学部附属病院、福井県済生会病院、国立病院機構あわら病院、坂井市立三国病院、地域医療機能推進機構福井勝山総合病院、越前町国民健康保険織田病院、公立丹南病院、市立敦賀病院、国立病院機構敦賀医療センター、レイクヒルズ美方病院、杉田玄白記念公立小浜病院、地域医療推進機構若狭高浜病院、広島大学 等

(9) 福祉関係

美浜町社会福祉協議会、敦賀市社会福祉協議会、(福)福井ゆうあい会 やはず苑、今庄老人保健施設、(福)光道園 ライトホープセンター、(福)友愛会 楊梅苑、(福)ふくい福祉事業団 若越ひかりの村 等

(10) 交通運輸関係

(公社)福井県バス協会、(一社)福井県トラック協会、中日本高速道路㈱金沢支社、その他バス事業者 等

(11) 漁業関係

福井県無線漁業協同組合、福井県漁業協同組合連合会、敦賀市漁業協同組合、美浜町漁業協同組合、若狭三方漁業協同組合、大島漁業協同組合、若狭高浜漁業協同組合、河野村漁業協同組合、小浜市漁業協同組合、雄島漁業協同組合、三国港漁業協同組合、三国港機船底曳網漁業協同組合、福井市漁業協同組合、越廼漁業協同組合、越前町漁業協同組合 等

(12) その他

(株)NTTドコモ北陸支社、北陸地方非常通信協議会、あわら温泉美松、(株)バロー 等

(13) 原子力事業者関係

関西電力(株)、日本原子力発電(株)、日本原子力研究開発機構、関電プラント(株) 等

7 訓練想定

美浜発電所3号機において、若狭湾を震源とした地震による外部電源喪失後、原子炉冷却材の漏えいが発生。さらに設備故障等により非常用炉心冷却装置による原子炉への全ての注水が不能となり、全面緊急事態となる。

8 住民参加 5,024人

【PAZ】 58人

区分	避難元市町		避難先		実績
要配慮者	美浜町	在宅要支援者	おおい町	いきいき長寿村	6
一般住民	美浜町		おおい町	大飯中学校	48
	敦賀市		敦賀市	敦賀市立体育館	4
合計					58

【UPZ】 266人

区分	避難元市町・施設名		避難先		実績
一般住民	美浜町		おおい町	名田庄体育館	93
			高浜町	中央体育館	19
	敦賀市		敦賀市	敦賀市立体育館（安定ヨウ素剤配布まで）	44
	若狭町		おおい町	うみんびあ大飯（スクリーニングまで）	29
	小浜市		おおい町	うみんびあ大飯（スクリーニングまで）	24
	越前市		あわら市	トリムパークかなづ	17
				芦原温泉美松	20
社会福祉施設等	美浜町	やはず苑	おおい町	楊梅苑	5
	越前町	ライトハウスセンター	福井市	若越ひかりの村	12
	南越前町	今庄老人保健施設	南越前町	今庄診療所	3
合計					266

PAZ・UPZ総計	324
-----------	-----

屋内退避	4,700
------	-------

参加住民	5,024
------	-------

9 訓練項目

(1) 住民避難訓練

ア 避難先施設への避難

324人 (PAZ : 58人、UPZ : 266人)

イ 自衛隊車両、民間バス、自家用車による住民等の陸路からの避難

陸上自衛隊高機動車3台、県バス協会バス26台、自家用車23台

ウ 自衛隊、海上保安庁等のヘリコプターおよび船舶による住民等の空路、海路からの避難

[空路] 陸上自衛隊ヘリ 1機、海上自衛隊ヘリ 1機

[海路] 海上自衛隊船舶 1隻、海上保安庁船舶 1隻

エ 避難車両中継所における自衛隊車両等から民間バスへの乗継

オ 消防団等による自家用車避難済み住民等の確認

カ 新型コロナウイルス感染症対策の防護措置の確認

(2) 避難所開設運営訓練

ア 避難所の設置運営

イ 避難者受入マニュアルに基づく受入訓練の実施

ウ 避難元、避難先自治体における情報伝達の確認

エ 避難者の受付 (避難退域時検査受検の有無の確認も含む)

オ 避難先施設における避難者への健康状態の確認

カ 災害時応援協定に基づく物資の調達、搬送

キ 飲料水・飲食物の供給

ク 避難住民への事故状況等説明の実施

ケ 新型コロナウイルス感染症対策の防護措置の確認

(3) 避難行動要支援者避難訓練

ア 児童園児の保護者への引渡し

イ 引渡しできなかった児童園児は、職員と共に避難先施設等まで避難

美浜町 1施設 (美浜中央小学校)

ウ 福祉施設入所者の避難先施設への搬送等

美浜町 1施設 (やはす苑)

南越前町 1施設 (今庄老人保健施設)

越前町 1施設 (ライトホープセンター)

エ 在宅避難行動要支援者の避難先施設 (福祉避難所等) への搬送

美浜町 1施設 (おおい町いきいき長寿村)

オ 福祉施設、原子力事業者が保有する福祉車両による搬送

福祉車両6台

カ 放射線防護のための換気設備を使用した屋内退避

キ 避難先施設における避難者への健康状態の確認

ク 警察による避難車両のパトカー先導

(4) 原子力災害医療措置訓練

- ア 福井県緊急時医療本部等の設置・運営
- イ 避難経路上における安定ヨウ素剤の配布
配布場所および配布数（4箇所、266人）
（美浜総合運動公園、敦賀市立体育館、越前町役場、県若狭合同庁舎）
- ウ 避難退域時検査および簡易除染の実施
実施場所および対象者数等（2箇所、266人）
（うみんぴあ大飯、小浜市総合運動場）
- エ 原子力事業者、原子力災害医療協力機関の参画
- オ 自衛隊による避難退域時検査、車両除染の実施

(5) 屋内退避訓練

- ア UPZ住民による自宅等での屋内退避行動（戸締、情報収集等）の実施
- イ 避難に備え、非常用持出品（保険証、常備薬等）の準備
- ウ 家屋倒壊により屋内退避できない住民による近隣の指定避難所への退避
- エ 屋内退避の意義等の理解促進活動の実施

(6) 複合災害対応訓練

- ア 複合災害時における防災関係機関間の情報伝達、対応要請の確認
- イ 自衛隊、海上保安庁による住民避難の支援
- ウ 通行不能道路における道路啓開（障害物排除）の実施（1箇所）
- エ 家屋倒壊により屋内退避できない住民による近隣の指定避難所への退避【再掲】

(7) 緊急時通信連絡訓練

- ア 発電所から事故状況の通報連絡
- イ 国から県および関西広域連合、関係市町への通報連絡、避難指示等の伝達
- ウ 県、関係市町から自衛隊、海上保安庁、警察、消防、その他関係機関への通報連絡
- エ 事故発生から応急処理、復旧までの通信伝達、収受等
- オ 携帯型映像伝送装置等を利用した画像伝送
- カ 北陸地方非常通信協議会等による情報伝達

(8) 災害対策本部等運営訓練

- ア 福井県庁、各市町庁舎、福井県美浜原子力防災センターに災害対策本部等の設置・運営、
情報収集・連絡体制を構築
- イ 災害対策本部等による住民に対する情報提供の実施
（ケーブルテレビ、防災行政無線屋外拡声器、個別受信機、緊急情報メール、広報車、船舶
等による地域住民・立入者等への広報）
- ウ テレビ会議システム等を活用し災害対策本部と現地災害対策本部との対策会議等の実施

(9) 原子力防災センター運営訓練

- ア 福井県美浜原子力防災センターへの要員派遣
- イ 現地事故対策連絡会議、原子力災害合同対策協議会の開催（防護措置方針の決定等）
- ウ 各機能班の活動
- エ 県および市町現地災害対策本部等と各機能班との連携
- オ 住民等の避難状況の確認
- カ 防護措置方針に基づいた応急対策（避難先等の決定、避難手段の確保など）

(10) 緊急時モニタリング訓練

- ア 緊急時モニタリングセンター等の設置・運営
- イ 緊急時モニタリング実施計画、緊急時モニタリング指示書の作成
- ウ 固定観測局および電子線量計観測局を活用したUPZ圏内の線量率の測定
- エ モニタリングカー、サーベイメータを活用した避難範囲の特定のための線量率の測定
- オ 放射線モニタリング情報共有・公表システム（ラミス）を用いた関係機関との情報共有
- カ 固定観測局等のバックアップとしての可搬型モニタリングポストの設置および測定
- キ 環境試料の採取、受入
- ク 福井県モニタリング本部（美浜原子力防災センター）の設置・運営および後方支援
- ケ 原子力事業者間の相互応援による職員派遣および資機材の提供
- コ モニタリング要員被ばく管理および資機材等の汚染管理

(11) 自衛隊災害派遣運用訓練

- ア 福井県美浜原子力防災センターへの連絡要員の派遣
- イ 住民の避難支援
- ウ 避難退域時検査、車両除染の支援

(12) 交通対策等措置訓練

- ア 主要交差点等における渋滞抑制対策の実施
- イ 道路管理者による道路点検の実施
- ウ 福井県警察本部のオフロードバイクによる避難地域の情報収集活動
- エ 福井県警察警備艇わかさによる美浜発電所周辺の海上警備
- オ 立入制限措置
- カ 警察による避難退域時検査場所周辺道路における交通誘導

(13) 発電所事故制圧訓練

- ア 緊急時活動レベル（EAL）による通報連絡訓練
- イ 本店および発電所における緊急時対策本部設置・運営
- ウ 規制庁ERCとの連携
- エ 発電所における重大事故等発生時の対応
- オ 原子力緊急事態支援組織の参画
- カ 現地支援拠点等の支援体制の確立

Ⅲ 過去5年間の総合防災訓練等の実施状況

種別	年度	28	29	30	令和元	2	3
総合防災訓練	日時	平成28年10月30日(日)	平成29年8月27日(日)	平成30年11月9日(金)	令和元年11月1日(金)、2日(土)	令和2年11月14日(土)	令和3年11月13日(土)
	場所	北潟湖畔公園	南越前町日野川河川敷	テクノポート福井、永平寺河川公園	中部縦貫道、真名川憩いの島	栗野スポーツセンター	鯖江市日野川河川敷
	主催	福井県、あわら市	福井県、南越前町、越前市	福井県、福井市、あわら市、坂井市、永平寺町	消防庁 福井県 福井県消防長会 緊急消 防援助隊中部ブロック訓練実行委員会	福井県、敦賀市	福井県、鯖江市
	参加機関	93	107	210	170	90	100
	訓練種目	44	41	92	75	45	50
	想定	大雨および地震・津波による災害	大雨と地震による災害	大雨と地震による災害	奥越地域における大雨および地震による複合災害	大雨と地震による災害	大雨と地震による災害
参加人員	5,300	3,000	6,000	2,000	700	1,050	
石油 コンビ ナート等 総合防 災訓練	日時			平成30年11月10日(土)			
	場所			福井縣海地区石油コンビナート等特別防 災区域およびその周辺海域			
	主催			福井県石油コンビナート等防災 本部			
	参加機関	未開催	未開催	30	未開催	未開催	未開催
	訓練種目			9			
	想定			地震による原油漏れ、防油堤一部破損 および余震によるタンク火災			
参加人員			100				
原子力 総合防 災訓練	日時	平成28年8月27日(土)、28日(日)		平成30年8月25日(土)、26日(日)	令和元年8月30日(金)、31日(土)	令和2年8月27日(木)	令和3年10月29日(金)、30日(土)
	訓練対象施設	関西電力(株) 高浜発電所、大飯発電所		関西電力(株) 大飯発電所、高浜発電所	関西電力(株) 美浜発電所	関西電力(株) 大飯発電所、高浜発電所	関西電力(株) 美浜発電所
	主催	福井県		国	福井県	福井県	福井県
	参加機関	高浜:150 大飯:100	未開催	191	100	40	100
	訓練種目	13	未開催	13	13	10	13
	想定	全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至り、放射性物質放出	全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至り、放射性物質放出	全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至り、放射性物質放出	全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至り、放射性物質放出	全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至り、放射性物質放出	全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至り、放射性物質放出
参加人員	5,546		7,457	8,988	約50	約5,020	

IV 市町別自主防災組織の結成状況

令和4年4月1日現在

	管内世帯数 (A)	自主防災組織 の組織数	隊員数	組織されている 地域の世帯数 (B)	組織率 (カバー率) (B/A)
福井市	105,638	1,143	74,661	100,756	95.4%
敦賀市	28,973	89	2,225	26,170	90.3%
小浜市	12,086	110	1,303	8,905	73.7%
大野市	11,607	203	6,025	11,089	95.5%
勝山市	7,054	118	1,199	5,433	77.0%
鯖江市	25,421	160	4,408	25,358	99.8%
あわら市	10,228	110	4,400	9,729	95.1%
越前市	31,543	239	9,520	31,543	100.0%
坂井市	32,531	324	4,488	25,074	77.1%
永平寺町	6,291	89	3,621	6,291	100.0%
池田町	909	19	137	710	78.1%
南越前町	3,338	72	981	3,331	99.8%
越前町	7,209	66	1,555	5,810	80.6%
美浜町	3,652	21	6,502	2,552	69.9%
高浜町	4,275	43	759	3,346	78.3%
おおい町	3,267	44	2,244	2,244	68.7%
若狭町	4,948	89	1,294	4,663	94.2%
合計・ 平均	298,970	2,939	125,322	273,004	91.3%

管内世帯数：住民基本台帳法に基づく人口、世帯数調べ（令和4年4月1日現在）

隊員数：自主防災組織の組織編成において隊員または班員等に位置づけられている実働隊員の総数（令和4年4月1日現在）

第4章 防災行政無線利用状況

1 無線局の現況

防災行政無線局等一覧（令和4年4月1日現在）

〔固定系〕

区分	局数		設置場所	
	多重系	衛星系		
統制局	1	1	県庁	
中継局	7		越知山（越前町大谷寺） 久須夜ヶ岳（小浜市堅海） 村国山（越前市村国町） 八ツ杉（越前市別印町） 勝山（勝山市村岡町） 岳山（美浜町早瀬） 青葉山（高浜町中山）	
支部局	7	7	7 土木（福井、三国、奥越、丹南、鯖江丹生、敦賀、小浜）	
合庁局	1	1	1 合同庁舎（福井）	
ダム管等局	12		原子力センター 龍ヶ鼻ダム管※、龍ヶ鼻ダム下流連絡所※、永平寺堰堤※ 笹生川ダム管、笹生川堰堤※、浄土寺川堰堤※ 広野ダム管、広野堰堤※、榎谷堰堤※ 大津呂堰堤※、河内川堰堤※ ※水防無線局を含む	
小計	28	9		
端末局	県出先機関		13	健康福祉センター（福井、坂井、奥越、丹南、二州、若狭）、 県立病院、福井港湾、敦賀港湾、 衛生環境センター、防災航空事務所※ 坂井上水、日野川上水 ※福井空港は、併設局（防災航空隊）と共用
	市町		17	9 市：福井、敦賀、小浜、大野、勝山、鯖江、あわら、越前、坂井 8 町：永平寺、池田、南越前、越前、美浜、高浜、おおい、若狭
	消防本部		7	7 消防本部 福井、大野、勝山、永平寺、嶺北、南越、若狭 ※鯖江丹生消防・敦賀美方消防は併設局（鯖江市・敦賀市）と共用
	国・公共機関等		19	福井气象台、鯖江自衛隊、舞鶴自衛隊、敦賀海保、福井海保 日赤福井、福井県医師会、福井火力、福井石油備蓄、原電敦賀 関電美浜・高浜・大飯、ふげん、もんじゅ オフサイトセンター（敦賀、美浜、大飯、高浜）
	小計		56	
可搬型地球局		3		
合計	28	68		

[移動系]

区 分		局 数	設 置 場 所
陸 上 基 地 局	全 県 移 動 260MHzデジタル	11	県庁統制局 中継局（越知山、久須夜ヶ岳、陣ヶ岡、村国山、岳山、青葉山、 八ツ杉、勝山） 土木事務所（敦賀） 笹生川ダム管
	F W A (18GHz)	1	坂井合同庁舎
	計	12	
航 空 局		6	防災航空事務所（可搬用含む）
陸 上 移 動 局	全 県 移 動 局 260MHzデジタル	車載型 46	県庁 3台 土木事務所 42台（福井6台、三国6台、奥越7台、丹南7台、鯖江丹生6台、 敦賀4台、小浜6台） 防災航空事務所
		半固定型 39	県出先機関 8台：健康福祉センター（福井、坂井、奥越、丹南、二州、若狭） 県立病院、防災航空事務所
			9市：福井、敦賀、小浜、大野、勝山、鯖江、あわら、越前、坂井
			8町：永平寺、池田、南越前、越前、美浜、高浜、おおい、若狭
			9消防本部：福井、大野、勝山、永平寺、嶺北、鯖江丹生、南越、敦賀美方、若狭
		5防災関係機関：福井駅、NHK福井、福井放送、福井テレビ、FM福井	
		携帯型 70	県庁 30台、敦賀土木 20台、小浜土木 20台
	携帯型(他機関) 44	原子力センター 3台、地域医療課 41台	
	小 計 199		
	F W A (18GHz)	1	陣ヶ岡中継局
	消 防 移 動 局	車載型 1	防災航空事務所
携帯型 10		県庁 1台、防災航空事務所 9台	
小 計 11			
防 災 移 動 局	携帯型 5	防災航空事務所、400MHz 防災相互	
計	216		
携 帯 局 (ヘリ用)		消防用 2	防災ヘリコプター
航 空 機 局		航行運航用 1	
ヘ リ サ ッ ト 局	携帯基地地球局	固定型 1	県庁局
	ヘリコプター局	ヘリ搭載型 1	防災ヘリコプター
	計	2	
合 計		239	

2 利用状況

(1) 一般通話の利用状況

令和3年中

区 分	一年間の総計	一カ月当たりの平均使用回数	一局当たりの月平均使用回数
支 部 ・ 合 庁 局	298,859	24,905	(9局) 2,767
ダ ム 管 等 局	10,096	841	(11局) 76
県 出 先 機 関	8,432	703	(14局) 50
市 町	443	37	(17局) 2.2
消 防 本 部	176	15	(9局) 1.6
国 出 先 機 関	57	4.8	(5局) 1.0
公 共 機 関	86	7.2	(9局) 0.8
原 子 力 発 電 所 等	95	7.9	(10局) 0.8
合 計	318,244	26,520	(84局) 316

(2) 一斉指令の利用状況

[指令内容別]

令和3年中

区 分	気 象 関 係				事務連絡	テスト	合 計
	警 報	注意報	情 報	計			
指 令 回 数	280	1,658	869	2,807	879	13	3,699
前年比 (%)	140	96	114	105	121	50	108

[指令種類別]

令和3年中

区 分	全 県	県出先	市 町	消 防	その他	合 計
指 令 回 数	3,408	44	236	213	0	3,901
前年比 (%)	107	80	125	146	—	109

(3)一斉指令月別通信回数

区分	令和3年中												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
気警報	44	18	0	2	36	0	88	64	0	0	4	24	280
象注意報	169	142	154	160	128	120	196	153	118	60	140	118	1,658
関係小計	173	95	80	35	72	18	105	78	33	19	39	122	869
事務連絡	386	255	234	197	236	138	389	295	151	79	183	264	2,807
テスト	94	66	75	65	91	68	80	84	63	69	52	72	879
計	0	1	2	2	2	1	0	0	2	0	2	1	13
全県	480	322	311	264	329	207	469	379	216	148	237	337	3,699
県出先	413	290	305	251	300	192	441	339	204	133	224	316	3,408
市町	5	1	1	2	8	8	0	6	2	2	5	4	44
消防	61	18	4	11	22	10	27	33	10	13	8	19	236
その他	54	17	2	11	21	7	27	33	10	7	8	16	213
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	533	326	312	275	351	217	495	411	226	155	245	355	3,901

備考:市町と消防へ一括して一斉指令した場合は、市町と消防の種類別において、それぞれ回数を計上

3 多重局通信回数集計表

令和3年中

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
福井支部	3,046	2,311	3,363	2,955	2,137	2,566	2,715	2,853	2,690	2,582	2,531	1,867	31,616
三国支部・坂井合庁	2,844	2,768	3,230	3,536	2,848	3,611	3,027	2,791	3,063	3,054	3,108	2,638	36,518
奥越支部・奥越合庁	2,486	2,206	3,026	3,146	2,181	2,578	2,347	2,042	2,002	2,621	2,515	2,016	29,166
勝山中継局 ^(注1)	240	275	356	236	129	180	154	124	130	177	167	198	2,366
丹南支部・南越合庁	3,751	3,772	5,071	5,384	4,356	4,210	4,313	3,915	3,982	4,155	4,214	3,982	51,105
鯖江丹生支部	1,561	1,284	1,884	1,830	1,458	1,392	1,480	1,462	1,249	1,473	1,455	1,417	17,945
敦賀支部・敦賀合庁	2,584	3,054	4,049	4,062	3,270	3,489	3,274	2,823	3,142	3,597	3,420	2,895	39,659
小浜支部・若狭合庁	3,784	3,907	5,485	5,200	4,294	4,381	4,046	3,743	4,037	4,550	4,029	3,480	50,936
福井合庁	2,616	2,919	3,937	4,304	3,056	3,684	3,306	3,135	2,969	3,327	3,219	3,076	39,548
原子力センター	478	402	614	267	372	336	287	313	310	415	432	277	4,503
笹生川ダム管	89	101	208	174	178	167	130	160	91	148	124	128	1,698
笹生川堰堤	0	0	1	5	0	1	18	3	0	7	11	1	47
浄土寺川堰堤	0	1	6	6	1	7	1	24	13	20	15	2	96
広野ダム管	129	130	275	215	229	175	176	196	213	220	211	173	2,342
広野堰堤	7	6	73	2	14	15	10	15	3	22	9	16	192
梶谷堰堤	5	3	8	9	12	21	11	7	4	27	7	24	138
龍ヶ鼻ダム管、永平寺堰堤	67	63	143	70	80	106	70	124	61	71	91	65	1,011
大津呂ダム管	0	0	2	0	27	0	0	0	0	0	4	7	40
河内川堰堤	1	0	0	0	0	10	1	1	1	0	5	10	29
計	23,688	23,202	31,731	31,401	24,642	26,929	25,366	23,731	23,960	26,466	25,567	22,272	308,955

(注1) 恐竜博物館への通信を含む

※土木事務所(支部局)と合同庁舎が隣接している局については、合算している。

4 端末局無線通信回数調

令和3年中

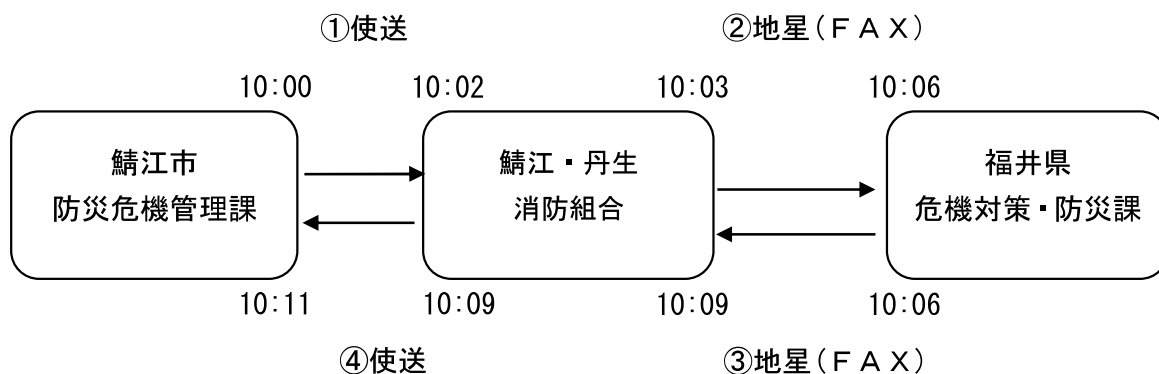
無 線 局	通信回数	無 線 局	通信回数	無 線 局	通信回数
福 井 市	32	福 井 消 防	19	福 井 気 象 台	34
敦 賀 市	21	大 野 消 防	22	鯖 江 自 衛 隊	8
小 浜 市	30	勝 山 消 防	26	舞 鶴 自 衛 隊	7
大 野 市	19	永 平 寺 消 防	10	敦 賀 海 保	5
勝 山 市	53	嶺 北 消 防	25	福 井 海 保	3
鯖 江 市	22	鯖江丹生消防	16	国 出 先 計	57
あ わ ら 市	25	南 越 消 防	29	福 井 駅	10
越 前 市	47	敦賀美方消防	13	N H K 福 井	9
坂 井 市	18	若 狭 消 防	16	福 井 テ レ ビ	9
市 計	267	消 防 計	176	福 井 放 送	11
永 平 寺 町	23	福 井 保 健	72	F M 福 井	7
池 田 町	24	若 狭 保 健	60	日 赤 福 井	7
南 越 前 町	42	二 州 保 健	195	福 井 県 医 師 会	5
越 前 町	21	丹 南 保 健	1,642	福 井 火 力	11
美 浜 町	18	坂 井 保 健	67	福 井 備 蓄	17
若 狭 町	18	奥 越 保 健	55	公 共 機 関 計	86
お お い 町	15	衛生環境センター	2,747	原 電 敦 賀	13
高 浜 町	15	県 立 病 院	125	関 電 美 浜	11
町 計	176	防 災 航 空 隊	32	関 電 大 飯	12
市 町 計	443	福 井 港 湾	373	関 電 高 浜	10
		敦 賀 港 湾	2,260	原 子 力 機 構 ふ げ ん	10
		福 井 空 港	40	原 子 力 機 構 も ん じ ゅ	13
		坂 井 上 水	242	敦 賀 オ フ サ イ ト	7
		日 野 川 上 水	522	美 浜 オ フ サ イ ト	8
		県 出 先 計	8,432	大 飯 オ フ サ イ ト	7
				高 浜 オ フ サ イ ト	6
				原 子 力 発 電 所 等 計	97
				合 計	9,291

※衛星回線による、端末局同士の通信回数はカウントされていない

5 非常通信訓練実施状況

(1) 令和3年度福井県総合防災訓練における非常通信訓練（令和3年11月13日）

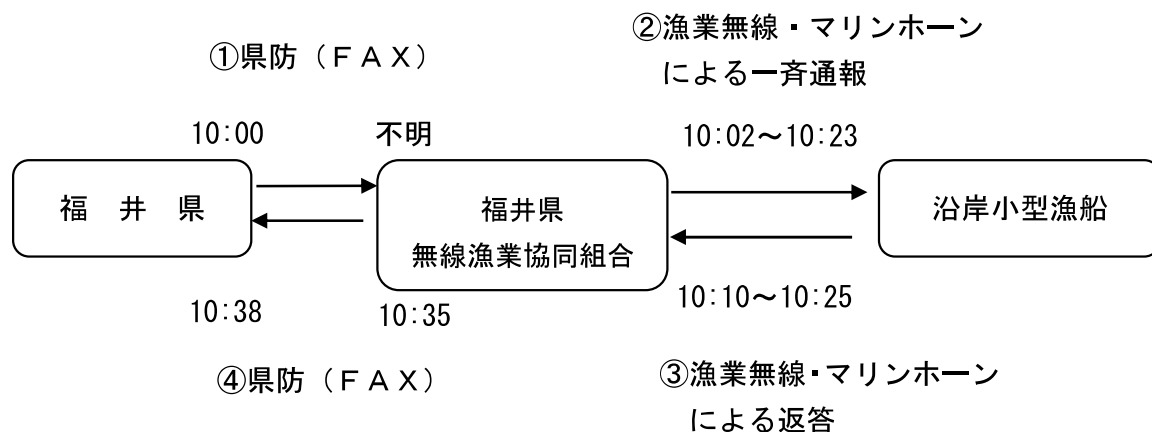
・ 鯖江市役所から福井県あて往復信（消防ルートを使用）



(参考)
 ・ 使送：徒歩または車両等により非常通報文を直接手渡しする
 ・ 地星：地域衛星通信ネットワーク

(1) 原子力総合防災訓練における非常通信訓練（令和3年10月29日）

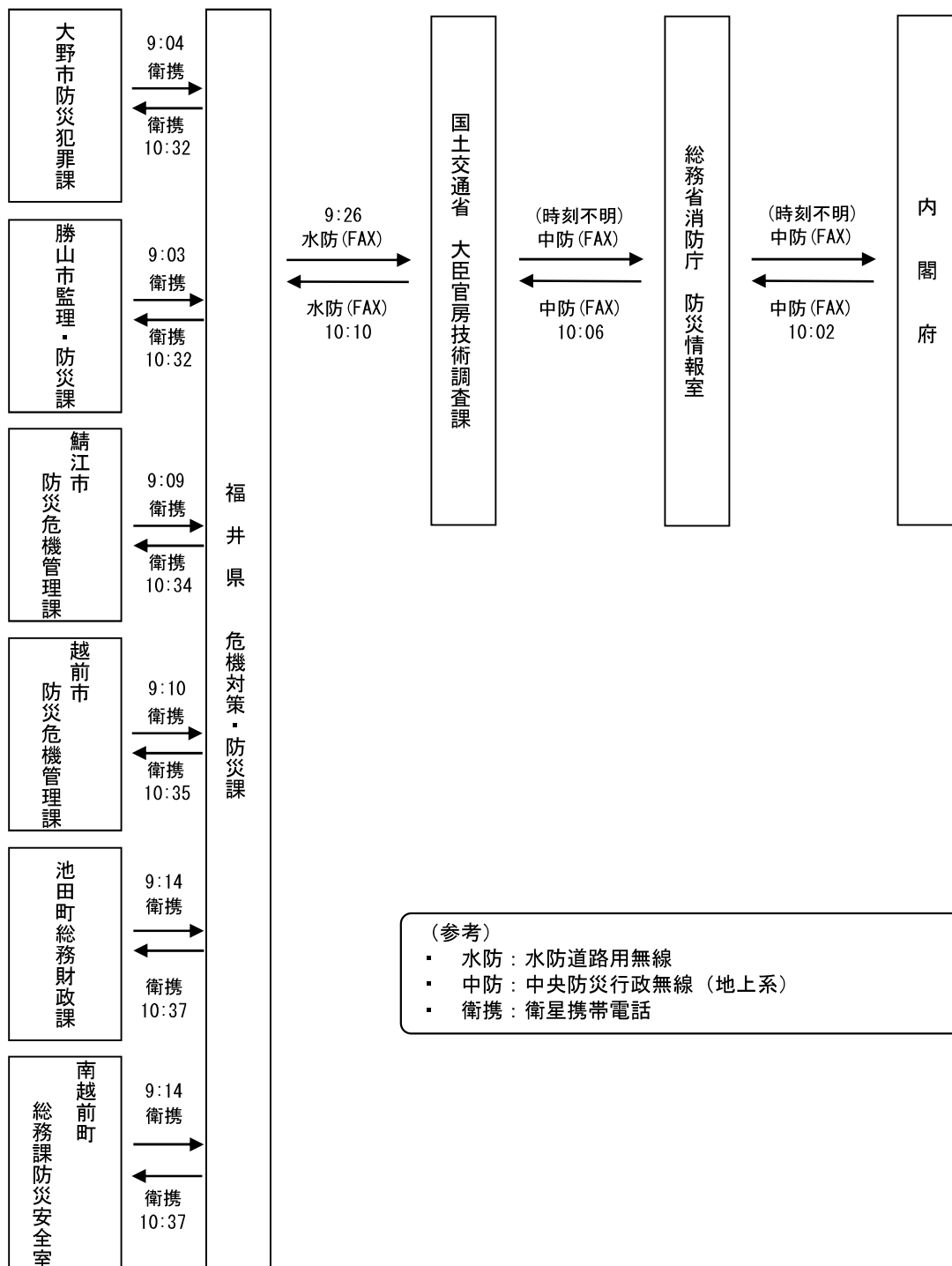
・ 福井県から沿岸の船舶に向けて情報発信（漁業無線およびマリンホーンを使用）



(参考)
 ・ 県防：県防災行政無線（地上系）

(2) 第84回全国非常通信訓練(令和3年11月16日)

- ・奥越地方、嶺北南部地方の各市町から福井県あて、福井県から内閣府へ往復信。市町～県庁間は衛星携帯電話(ワイドスターII)、県庁～内閣府間は国交省ルートを使用。

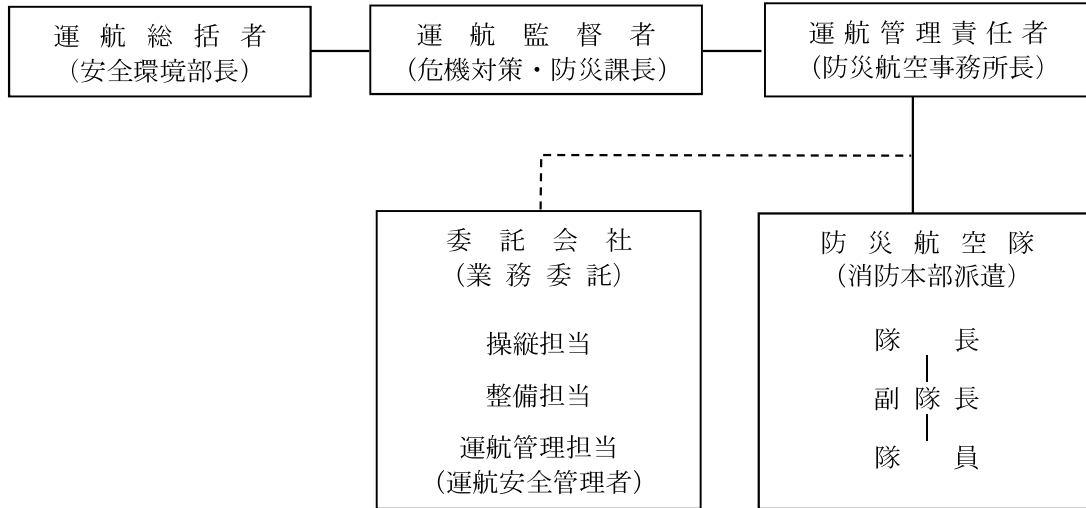


第5章 防災ヘリコプターの運航体制

1 運航基地

福井県防災航空事務所（福井空港内）

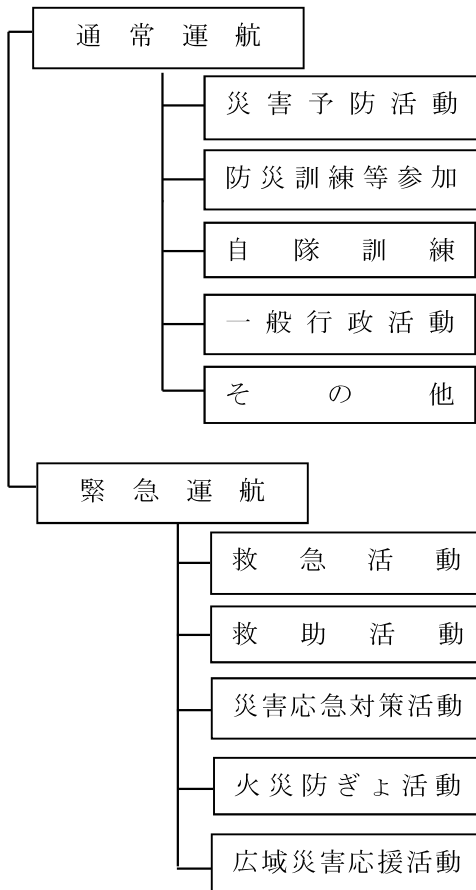
2 組織図



3 運航時間

毎日、午前8時30分から午後5時15分まで
 (ただし、緊急運航の場合は日の出から日没まで)

4 活動業務



Blue Arrow 主要性能

機種	川崎BK117C-2
メーカー（製造国）	川崎重工業（日本）
エンジン最大出力	1,384SHP
エンジン基数	2基
搭乗人員	11人
最大全備重量	3,585kg
最大搭載可能重量	1,715kg
航続距離	685km
ホイスト装置	270kg
貨物吊り下げ装置	1,500kg
全長	13.03m
全高	3.95m
最大速度	278km/h
航続時間	約3.5h
着陸方式	スキッド式

第1表 福井県防災ヘリコプター運航実績表（年度別）

令和4年3月31日現在

区分	緊急運航						通常運航							合計	
	救急	救助	災害応急	火災防御	広域災害応援	計	自隊訓練	連携訓練	防災訓練参加	危険箇所調査	災害予防活動	一般行政	整備		その他
平成22年度	件数 22 時間 9:31	26 19:26			15 21:26	63	128	10	30		4	3	4	3	245
平成23年度	件数 25 時間 10:01	26 10:46	4 4:03	1 3:19	6 11:09	62	125	10	29		4	4	3	4	241
平成24年度	件数 25 時間 13:51	24 18:31		1 0:52	11 13:25	61	145	17	39		3	1	5	5	276
平成25年度	件数 29 時間 15:24	23 19:33	9 13:12		12 13:28	73	147	11	33		3	1	5	4	277
平成26年度	件数 28 時間 12:35	29 20:32			12 12:35	69	127	12	33		1	4	8	8	265
平成27年度	件数 36 時間 19:30	36 26:08			6 9:38	78	154	8	40			2	6	3	291
平成28年度	件数 37 時間 20:50	31 30:03			10 14:41	78	124	18	40			2	9	2	273
平成29年度	件数 28 時間 15:55	40 29:37		1 1:04	14 14:55	83	140	12	27			1	7	3	273
平成30年度	件数 21 時間 15:19	18 9:26	1 0:25	1 0:24	21 12:56	62	166	10	32			1	8	4	282
令和元年度	件数 25 時間 13:50	36 24:25	2 1:23		28 24:21	91	150	17	25				11	4	298
令和2年度	件数 35 時間 16:26	42 23:20	1 1:07	2 1:50	8 8:50	88	155	10	27				19	1	300
令和3年度	件数 27 時間 10:26	43 30:43	5 3:46	5 5:45	24 14:19	104	158	31	7				9	4	313
						64:59	172:31	28:44	5:43				7:14	2:07	281:18

※年間の飛行時間は300時間が限度であるが、耐空検査を年度中に実施しているため、年度合計は300時間を超える場合がある

